



画を究め、

芸に遊ぶ

特別展

豊春

Go Shun

Studying Pictures and Playing with Art

2024

10/19(土)

— 11/24(日)

※展示替あり

◎前期

10月19日(土)～11月4日(月・振替休日)

◎後期

11月6日(水)～11月24日(日)

[休館日]毎週月曜日

ただし11月4日(振替休日)は開館し、翌5日(火)が休館

[開館時間]午前10時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

[入館料]一般 950円

高校・大学生 730円 小学・中学生 無料

※20名以上の団体は相当料金の2割引で引率者1名無料

※「障がい者手帳」をお持ちの方とご同伴者1名2割引

[共催]毎日新聞社

[上]重要文化財 白梅園屏風(左隻・部分) 呉春筆 逸翁美術館蔵

[下]初午詣図(部分) 呉春筆 神戸市立博物館蔵

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6
電話 0742-4510544 <https://www.kinrensug-hd.co.jp/culture/yanao/>

大和文華館

奈良・学園前



呉春

特別展

呉春(1752~1811)は江戸時代の京都で活躍した絵師で、呉服里(現在の大阪府・池田)で春を迎えた際に呉春と名を改めました。与謝蕪村(1716~83)に絵画と俳諧を学び、写生を重視して江戸絵画を革新した円山応挙(1733~95)とは絵画の技について語り合ったといひます。一世を風靡した呉春の画風は四条派として広がり、近代の京都画壇にも大きな影響を与えました。

本展では寺院の襖絵などの大作を交えて呉春の画業を振り返り、理想を目指して洗練されていく画風の変化を見ていきます。また、絵画のみならず俳諧や謡曲といった芸事に通じていた様子もご覧いただけます。移りゆく画風や、様々な人との交流の背景には、呉春の軽やかな人間性があつたように思われます。洒脱でいて親しみやすさもある呉春の魅力をぜひご堪能ください。

Go Shun, an artist known for his elegant taste, who boasted tremendous popularity since the Edo era. Enjoy his refined aesthetic and skill with brush and ink, which is definitely among the pinnacles of Edo era painting.



太施太子図 呉春筆・林喜右衛門五世玄好賛 林喜右衛門家蔵



重要文化財 柳鶯群禽図屏風 呉春筆 京都国立博物館蔵 ※右隻は前期展示、左隻は後期展示



重要文化財 群山露頂図襖(部分) 呉春筆
天明七年(1787) 大乘寺蔵



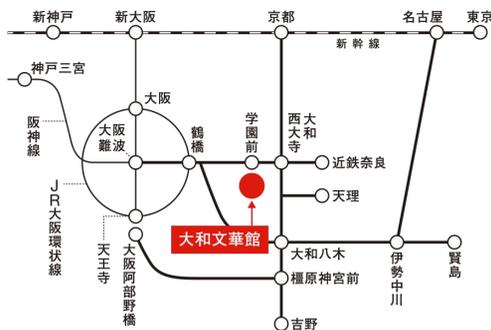
重要文化財 四季耕作図襖(部分) 呉春筆
寛政七年(1795) 大乘寺蔵

- 講演会 10月20日(日)午後2時・講堂
「呉春の表現の源流を求めて—蕪村、群禽、白梅図屏風—」
成城大学准教授 安永拓世氏 [定員]当日先着100名(予約不要)
- 特別公演 11月10日(日)午後2時・講堂
「素謡「太施太子」~呉春も聴いた!? 幻の謡曲がここに復活!!~」
観世流能楽師 / 林喜右衛門家十四世当主 林宗一郎氏
[事前申込制] 詳細は当館ホームページをご確認ください。
- 列品解説 毎週土曜日 午後2時 当館学芸部による

- 日曜美術講座 10月27日(日)午後2時・講堂
「呉春と遊んだ人々—出陳作品から見る交友—」
当館学芸員 仁方越洪輝 [定員]当日先着100名(予約不要)
- 講座 美術の窓 11月24日(日)午後2時・講堂
連続講座「摺物 特注版画の魅力」
第3回「国貞・国芳・広重と歌川派の摺物」
当館館長 浅野秀剛 [定員]当日先着100名(予約不要)
- 無料招待デー 10月31日(木) 大和文華館開館記念日



近鉄・奈良線(学園前駅)下車、南出口より徒歩約7分、無料駐車場あり



大和文華館

奈良・学園前

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6

TEL (0742) 45-0544 FAX (0742) 49-2929

近鉄・奈良線(学園前駅)下車 徒歩約7分

大和文華館ホームページ
<https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/yamato/>

☒ @yamatobunkakan



大和文華館は展示場改装工事のため11月25日から2月28日まで休館いたします。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。